

第7回 服薬教室

7

薬の副作用への正しい対処法について知る

◇進め方

1. 挨拶（気分と体調の確認）
2. 宿題の確認
3. 服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認
4. 前回の復習
5. 今日の内容の紹介
6. ビデオ視聴
7. 質疑応答
8. ロールプレイ
9. 質問がないか確かめる
10. 宿題設定と次回の予定確認

◇挨拶・体調確認

＜挨拶をかわし、前回の訪問以降の出来事をたずね、気分と体調の変化を確認します。＞

〇〇さん、こんにちは。

前回の訪問以降、何か困ったことはありませんか？

気分や体調はいかがですか？

◇宿題（チェック表）の確認

＜チェック表を確認し、努力をほめて継続を促します。＞

〇〇さん、服薬症状チェック表は記入しましたか？

毎日きちんと薬をのんで、具合もよいようですね。

上手に記入できています。引き続き記入してくださいね。

◇服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認

＜服薬教室の目標確認をして、学習の意欲を高めます。＞

＜将来の夢（目標）と関連付けることも有効です。＞

服薬教室の目標は何であったか覚えていますか？

服薬教室の目標を達成することは、〇〇さんの目標の達成に役立ちますか？

＜次に、これまでの学習内容の理解度を確認します。ビデオは観ずに質問します。時間がない時は、理解が不十分であった回や☆印のみでも結構です。＞

今までの復習をしますね。第5回の内容ですが、正しい薬の飲み方の最初のステップは何だったか覚えていますか？

◇前回の復習

＜ワークブックの『第6回服薬教室』を開くように促します＞

それでは、前回の復習をしましょう。前回は、正しい薬の飲み方のルールと飲み忘れた時の対処法について学びました。前回のビデオを観て、また質問をしますので、注意して観てください。

＜タブレットで『第6回服薬教室ビデオ』を視聴します。＞

＜『第6回服薬教室』の質問を一通りします。時間がない時は☆印だけでもよいです。＞

＜解答につまったら、タブレットで『第6回服薬教室（回答付き）』を示します。＞

何か質問はありませんか？

◇今日の内容の紹介

今日の服薬教室では、『薬の副作用への正しい対処法』について学びますので、ワークブックを開いてください。

＜ワークブックの『第7回服薬教室』を開くように促します。＞

今日のビデオは、向精神薬の副作用とその対処法について詳しく説明しています。

観終わったあとで、ここにあるような質問をしますので、注意して観てください。

分かりにくければ、繰り返し見ることができますので、大丈夫ですよ。

＜ワークブックの『第7回服薬教室』を示します＞

◇ビデオ視聴

＜タブレットで、『第7回服薬教室ビデオ』を観ます。＞

＜理解を確かめながら、必要があれば繰り返し観てください。＞

◇質疑応答

いかがですか。もう一度ビデオを観ますか？

では、先ほど示した質問をしますが、よろしいですか？

Q1. 向精神薬にはどのような作用があるのでしょうか？

(薬には、その目的である主作用と、望ましくない作用である副作用とがあります。)

そうですね、全ての薬には治療を目的とする作用つまり主作用と、望まない作用つまり副作用があります。

Q2. なぜ副作用について知っておく必要があるのでしょうか？

(薬の主作用を最大限に利用し、副作用をできるだけ少なくするためにも、副作用について知っておく必要があります。)

Q3. 副作用は一度起こると、抑えられないものですか？

(いいえ、違います。たとえ副作用が現れたとしても、うまく対処する方法を知っていると、抑えることができます。)

Q4. では、薬の副作用への正しい対処法を教えてください。

(副作用に対処するためには副作用のチェック表を活用します。今までなかった気になる症状があったら、チェック表に毎日記入し、それを主治医に見せます。軽い副作用であれば、副作用チェック表に従って自分で対処できます。もしより重い副作用でしたら主治医に相談します。)

そうですね。まずは毎日『服薬と症状チェック表』に記入することが大切です。

『服薬と症状チェック表』は外来受診時に主治医に見てもらいましょう。

軽い副作用ならば『副作用チェック用紙』の指示で対処できます。

めったに起きることはないのですが、『より重い副作用チェック用紙』にあてはまる場合は、すぐに主治医に報告しましょう。

Q5. 副作用が起きるからという理由で、服薬をやめてもよいのでしょうか？

(いいえ。副作用が起きるからという理由で服薬を急にやめることはよくありません。薬の副作用がひどいと思った場合、服用を中止するかどうかは担当医と相談して決めます。)

副作用に早く気付いて上手に対処し、服薬を規則正しく続けることが大切です。

◇ロールプレイ

<今回の内容について、ロールプレイをします。役割交換をして、スタッフが薬を飲んでいる患者役に、利用者が薬の専門家役になります。>

ではこれからロールプレイをします。

ロールプレイで練習することは、今後〇〇さんが、副作用に早く気付いて上手く対処するために、とても役立ちます

では、二人でやってみましょう。

<場面設定>

ここを、病院の相談室としましょう。患者さんが『薬の副作用への正しい対処法』について、薬の専門家に聞いている場面です。

<役割設定>

〇〇さんは、『薬の副作用への正しい対処法』について説明する薬の専門家になってください。私は専門家に質問する患者さんの役をします。

<目的把握>

患者役の私が質問しますから、「薬の主作用と副作用」について説明してくださいね。

<ロールプレイ>

では、始めましょう。

「先生、質問があるんですが、いいですか？ 薬には主作用と副作用というものがあるそうですが、詳しく教えていただけますか。」

(全ての薬には治療を目的とする作用つまり主作用と、望まない作用つまり副作用があります。)

<時間があれば、Q2～Q5も行います。>

<手をたたき、一拍おいて>はい、ありがとうございます。

<正のフィードバック>

〇〇さんの説明は、要点をつかんで、はっきり説明できていたので、とてもよくわかりました。

<良かった所を具体的に挙げてほめてください。>

◇質問がないか尋ねる

今日の内容について何か質問はありませんか？

<質問に答え、必要があればビデオを観なおします。>

今日学んだ内容のまとめです。ワークブックと一緒に保管しておいてください。

<ワークブックの『第7回服薬教室（回答付き）』を渡します。>

◇宿題の設定と次回の予定確認

今日の服薬教室はこれで終了です。

明日以降もチェック表を毎日記入して、次回の訪問の時にみせてください。

次回の予定は、___日の___時からです。